

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年1月13日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報				1月 平均価格	生育及び価格の1月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額							
		上旬	中旬	下旬					
葉 茎 菜	キャベツ 	66.30	55	73	85	88.05	・入荷見込量：12,710(100) ・主産地：愛知(55)、千葉(22)、神奈川(13)	・愛知産は、生育期の曇天により根の張りが弱く、一部のほ場で病害が残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、最近の低温などにより小玉傾向で、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・愛知産及び千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		69.92	53	69	81	83.73	・入荷見込量：3,600t(102) ・主産地：愛知(56)、和歌山(7)、大阪(6)、兵庫(6)		
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	218.22	201	233	257	229.99	・入荷見込数量：5,480(100) ・主産地：千葉(33)、埼玉(25)、茨城(17)、群馬(12)、輸入(2)	・千葉産は、各産地の出荷が出揃い生育は順調なことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、生育は順調で他作物の収穫も終了し、今後は本格的な収穫・出荷となることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。茨城産は、生育期の天候に恵まれ生育は順調で、現在は平年よりやや多めの出荷であるが、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		444.77	304	359	513	450.51	・入荷見込数量：200t(89) ・主産地：徳島(26)、奈良(15)、高知(13)、三重(9)、香川(8)、大阪(7)	・千葉産、茨城産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	はくさい 	36.65	31	31	35	61.12	・入荷見込量：14,820t(102) ・主産地：茨城(82)、群馬(9)	・茨城産は、生育は順調で県内の産地の切り替えが順調に行われていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷となる見込み。 ・茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれ、1月以降平年の価格水準が上がる時期でもあることから、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		53.29	47	46	55	68.70	・入荷見込量4,200t(97) ・主産地：愛知(21)、宮崎(19)、和歌山(14)、熊本(12)、岡山(7)、茨城(6)		
	ほうれんそう 	350.10	368	474	612	307.66	・入荷見込量：1,520t(100) ・主産地：群馬(26)、茨城(24)、千葉(20)、埼玉(19)	・群馬産は、最近の低温の影響で生育が停滞しているため、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、最近の低温により生育の遅れが見られ、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		419.76	396	519	681	341.25	・入荷見込量：550t(89) ・主産地：徳島(43)、福岡(36)、群馬(9)	・群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	レタス (結球) 	233.85	135	259	355	233.85	・入荷見込量：6,760t(100) ・主産地：静岡(33)、兵庫(12)、香川(11)、千葉(7)、熊本(6)、福岡(6)	・静岡産は、最近の低温や日照不足の影響で小玉傾向となっており、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、天候に恵まれ病害虫の発生もなく生育は順調で、現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		226.75	141	258	366	226.75	・入荷見込量：930t(96) ・主産地：兵庫(47)、徳島(17)、香川(12)、長崎(9)、和歌山(6)	・兵庫産の出荷が平年並みと見込まれるものの、静岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
たまねぎ 	76.15	76	77	78	76.15	・入荷見込量：8,840t(105) ・主産地：北海道(84)、輸入(5)	・北海道産は、選別・調製を終えて倉庫に保管されて、計画的な出荷が行われており、今後も引き続き平年をやや下回る出荷の見込み。 ・北海道産の計画的な出荷が見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き概ね平年並みに推移する見込み。		
	76.15	82	85	85	76.15	・入荷見込量：3,300t(101) ・主産地：北海道(58)、兵庫(35)			
果 菜	きゅうり 	370.98	337	481	547	370.98	・入荷見込量：4,840t(95) ・主産地：宮崎(40)、千葉(22)、高知(18)、茨城(7)、埼玉(4)	・宮崎産は、病害の発生はないものの樹勢が弱く、現在は連休明けにより出荷がずれ込んだ影響でやや多めの出荷となっているが、今後は平年並み若しくは平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は越冬物の出荷が出揃い最盛期を迎えているが、最近の低温などにより、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。高知産は、天候が安定しているため、病害虫の発生もないことから、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		350.33	310	469	569	350.33	・入荷見込量：1,000t(87) ・主産地：宮崎(44)、高知(24)、徳島(20)、愛媛(7)	・宮崎産、千葉産及び高知産の出荷が平年並み若しくは平年より少なめと見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年を上回って推移する見込み。	
	トマト (大玉) 	332.6	330	350	370	332.60	・入荷見込量：5,220t(100) ・主産地：熊本(43)、愛知(17)、栃木(13)、静岡(6)、千葉(4)、宮崎(4)	・熊本産は、最近の低温と曇天の影響で着色が停滞しているが、生育は概ね順調であることから、やや多めの出荷となっている。今後は主産地の抑制作が終盤を迎えるため、平年よりやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、天候不順で花着きや着果に影響があった場合からの出荷の時期を迎えることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。	
		311.06	325	334	344	311.06	・入荷見込量：1,100t(98) ・主産地：熊本(70)、愛知(10)、福岡(6)	・熊本産及び愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。	
	なす 	389.03	430	452	482	389.03	・入荷見込量：2,360t(100) ・主産地：高知(61)、福岡(20)、佐賀(5)	・高知産は、病害の発生もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、病害虫の発生もなく生育は順調であるが、最近の低温により肥大が停滞気味で現在は平年よりやや少なめとなっている。今後は平年並みの出荷の見込み。	
		397.74	434	456	504	397.74	・入荷見込量：330t(79) ・主産地：高知(39)、熊本(26)、福岡(20)、岡山(9)	・高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	ピーマン 	344.39	346	444	576	551.24	・入荷見込量：1,340(100) ・主産地：宮崎(50)、高知(21)、鹿児島(17)、茨城(11)	・宮崎産は、病害虫の発生もなく生育は概ね順調で、現在は連休明けもあり平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。高知産は、最近の天候が安定しているため、着果、肥大ともに良好で現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		353.61	360	429	558	513.91	・入荷見込量：300t(73) ・主産地：宮崎(50)、高知(25)、鹿児島(8)	・宮崎産及び高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並み若しくは平年を上回って推移する見込み。	
	根 菜	だいこん 	64.33	44	46	68	79.03	・入荷見込量：13,510t(100) ・主産地：神奈川(56)、千葉(35)	・神奈川産は、最近の低温の影響で生育に停滞が見られるが、大きな影響はなく引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調で品質も良好なことから引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。
			76.48	52	56	73	80.47	・入荷見込量：2,950t(96) ・主産地：徳島(28)、鹿児島(25)、長崎(21)、和歌山(17)	・千葉産及び神奈川産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並み若しくは平年を下回って推移する見込み。
にんじん 		100.82	81	82	97	101.05	・入荷見込量：6,880t(105) ・主産地：千葉(81)、埼玉(8)、茨城(5)、輸入(1)	・千葉産は、生育は順調で出荷の最盛期を迎えており、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		104.49	105	122	140	104.73	・入荷見込量：2,200t(102) ・主産地：鹿児島(52)、長崎(29)、鳥取(12)	・千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づき見込み。	

種類	12月の価格情報					1月 半年価格	生育及び価格の1月の見通し
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価格			1月		
		上旬	中旬	下旬			
い も	さといも	200.88	250	274	271	217.95	・入荷見込量：645t (100) ・主産地：埼玉 (41)、千葉 (30)、輸入 (4)
		207.20	260	274	300	219.65	・入荷見込量：165t (-) ・主産地：愛媛 (54)、宮崎 (13)、埼玉 (12)、熊本 (8)、輸入 (6)、鹿児島 (4)
	ばれいしょ	88.17	83	85	85	88.17	・入荷見込量：8,800 (105) ・主産地：北海道 (63)、長崎 (26)
		88.17	75	76	79	88.17	・入荷見込量：3,200t (82) ・主産地：北海道 (64)、長崎 (28)、鹿児島 (8)

注：1 半年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。  
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもは前年実績。  
5 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東産は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)										主要野菜の小売価格 (東京都区部)					
年	過去5か年平均		平成25年		平成26年			キャベツ			レタス				
	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	前年比	購入金額 (円)	前年比	過去5か年平均	平成26年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比 (%)	
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106	198	267	135	673	684	102	
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105	211	234	111	605	578	95	
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,958	100	1,878	106	200	200	100	498	459	92	
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887	104	248	206	83	469	381	81	
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5,146	98	1,993	107	169	175	104	371	351	95	
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	4,998	95	1,976	104	137	147	108	317	321	101	
7月	4,423	1,712	4,456	1,783	4,542	102	1,770	99	153	171	112	322	358	111	
8月	4,324	1,713	4,422	1,741	4,275	97	1,846	106	140	151	108	415	446	107	
9月	4,768	1,803	4,577	1,863	4,745	104	2,035	109	149	228	153	506	871	172	
10月	5,238	1,861	5,225	1,932	5,455	104	1,973	102	158	209	132	449	378	84	
11月	4,993	1,671	4,852	1,806	5,291	109	1,704	94	162	122	75	421	323	77	
12月	5,142	1,882	5,152	2,093					162	137	84	521	506	97	

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」  
注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」  
注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。  
2 平成26年12月の値は、12月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

11月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比73%の5万1千トン、加工野菜は同83%の13万トン、野菜全体は、同80%の18万1千トンとなった。このうち中国産野菜合計は85%の11万1千トンとなった。

生鮮野菜、加工野菜ともに前年を大幅に下回ったことから、野菜全体においても前年を大幅に下回った。

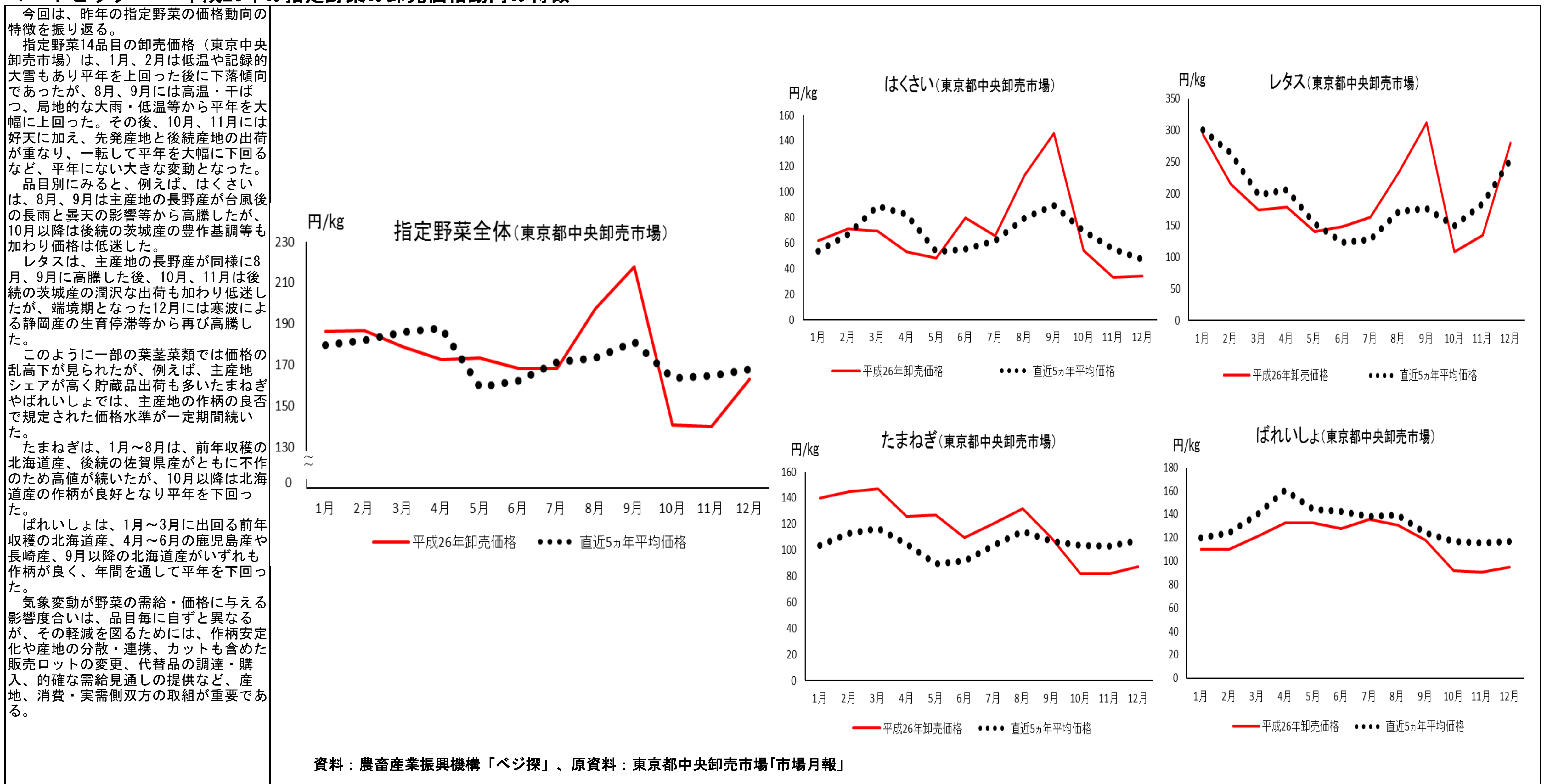
区分	平成24年		平成25年		平成26年1～11月		平成26年11月	
	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	814,225	107	50,622	73
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	1,639,316	97	129,956	83
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	2,453,541	100	180,578	80
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	1,283,184	101	110,957	85
中国産シェア	51		52		52		61	

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

品目	輸入先	平成25年11月(A)		平成26年11月(B)		(B)/(A)
		数量	金額	数量	金額	
たまねぎ	合計	30,681	22,911	22,911	75	
	中国	25,600	20,606	20,606	80	
	米国	5,081	2,272	2,272	45	
にんじん	合計	6,831	3,987	3,987	58	
	中国	6,750	3,973	3,973	59	
	米国	34	30	30	88	
ねぎ	合計	4,707	3,578	3,578	76	
	中国	4,680	3,575	3,575	76	

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年11月は速報値。

## 4 トピック — 平成26年の指定野菜の卸売価格動向の特徴 —



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。